



「今、夢中になれること」

校長 成田 弥生

マイラボ始動！夢中になれる時間に

子どもの頃、どんなことに夢中になりましたか？
そして、「今」夢中になれることはありますか？

子どもたちのシブヤ未来科の「さるラボ（探究学習）」
では、テーマラボ（学年探究）の取組も進み、後期より
マイラボ（マイ探究）も始まりました。

マイラボ始動にあたり、高学年オリエンテーション
では、卒業生ゲストティーチャーに来てもらいました。

マイ探究での取組の紹介や実演を通して、子どもが本気で取り組めば大人は協力して応援してくれるから
「子どもは最強！」で、子どもが全力でチャレンジするよさや「チャンス」「出会い」「自分で動く」ことの
大切さを教えてくれました。中学生の先輩が熱く語る言葉に子どもたちは聴き入っていました。

探究学習では、自分で課題を見つけ、情報を収集・整理し、様々な他所と協働しながら、自分の納得解を
見つけていく、学んだことを人生や社会にいかそうとする学びに向かう力をつけると学習指導要領にもあり
ます。

さるラボでは「自分なりの問い」を学び深め、「自分ごと」として本気で考えられるようになることがゴ
ールです。夢中になれることが見つかれば、「学ぶ楽しさ、喜び」を感じられる時間になることを願っていま
す。ぜひ、さるラボの様子を見にいらしてください。

そして、マイラボは伴走者としてお待ちしております。この秋、子どもだけでなく、大人も夢中になれるこ
とが見つかると素敵で豊かな時間を過ごせるかと思います。



目標を実現可能にするちょっとした工夫

後期に入り、時間を意識して生活したり、気持ちのよい挨拶が響くようになったりするなど、落ち着いて学
校生活ができています。

後期始業式に子どもたちに目標についてこんな話をしました。

目標を書くときの3つのコツ

- ①「分かりやすい」
詳しく説明しなくても、どんな目標なのか誰にでも分かってもらえる表現
- ②「できそう」
少し頑張れば、できるような目標であれば、なんとかしようとする気も出る
- ③「結果が分かる」
目標が達成できたか結果が分かり、振り返りによって新しい目標が見つかる



そして、「有言実行」。チャレンジしたいことを誰かに話してみるのもよいかもしれませんとお話をしました。
その後、クラスでも後期の目標を決めていました。目標に向かって、時には、チャレンジしたけれど、上手いかないこ
ともあるかもしれません。それも貴重な学びとなります。

私たち大人は、子どもたちのチャレンジをどこまでも温かく見守り、応援し、伴走していきたいと思ひます。